

福島小だより

学校通信



めざす児童像：考える子 やさしい子 元気な子
第4号 令和6年7月1日

甘楽町立福島小学校
校長 新井 綱人

ようやく梅雨に入り、じめじめとした暑さが厳しさを増しています。6月は、地域の皆様のご協力による学習活動が数多くありました。町内の小中学校は令和4年度よりコミュニティ・スクールへ移行し、地域とともにある学校を目指しています。

地域の皆様のおかげで子どもたちの学習が充実することはもちろんですが、子どもたちと関わることで、地域の皆様にも喜んでいただき、地域の皆様と一緒に子どもたちの成長を支えていけることがコミュニティ・スクールの趣旨でもあります。今後とも、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



～今回の通信では、地域の皆様のご協力による活動を紹介します～

○福島の瓦についての学習（3年）

3年総合的な学習の時間で、福島地区の瓦について調べています。甘楽福島瓦協同組合様のご協力により、笹森稲荷神社前にある「ギャラリー瓦窯」を見学させていただきました。瓦に関するたくさんの児童の質問にも答えていただきました。ギャラリー内にある、かつて瓦を焼いていた窯の内部も、トロッコに乗って見学をさせていただきました。歴史ある福島地区の瓦製造ですが、甘楽中学校建設の際に13万枚の瓦を製造したのを最後に、今では瓦の製造は行っていないとのことでした。



○町たんけん（2年）

2年生活科「まちたんけんにいこう」で、地域の事業所のご協力と、保護者の皆様による引率へのご協力をいただきながら町探検を実施しました。2年生21人を5つのグループに分け、各グループで2か所ずつ回りました。ご協力いただいた事業所は次のとおりです。ご協力、ありがとうございました。



・パンダぱんだ 様・甘楽庵 山ぐち 様・野中写真館 様・小田倉生花店 様・齊藤食肉店 様

○きゅうり農家の見学（3年）

3年社会「農家ではたらく人」の学習で、福島小学校近くで、きゅうり栽培をしている三木さんのビニールハウスを見学させていただきました。児童から色々な質問をして、丁寧に答えていただきました。県外に出荷しているため、三木さんが育てたきゅうりを近くの店で買うことはできないとのことでした。身近な場所で見学することができ、大変貴重な経験となりました。



○福祉体験学習（4年）

4年生の総合的な学習の時間では、福祉について学習を進めています。町の社会福祉協議会のご協力により、車椅子体験や高齢者疑似体験をさせていただきました。車椅子の方の移動がどれだけ大変か、高齢者の方が歩いたり階段を上ったりするのがどれだけ大変か、身をもって体験できたことだと思います。

